

平成21年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業  
(海外展示・商談活動(中国(中国花き博覧会)))  
第7回中国花き博覧会

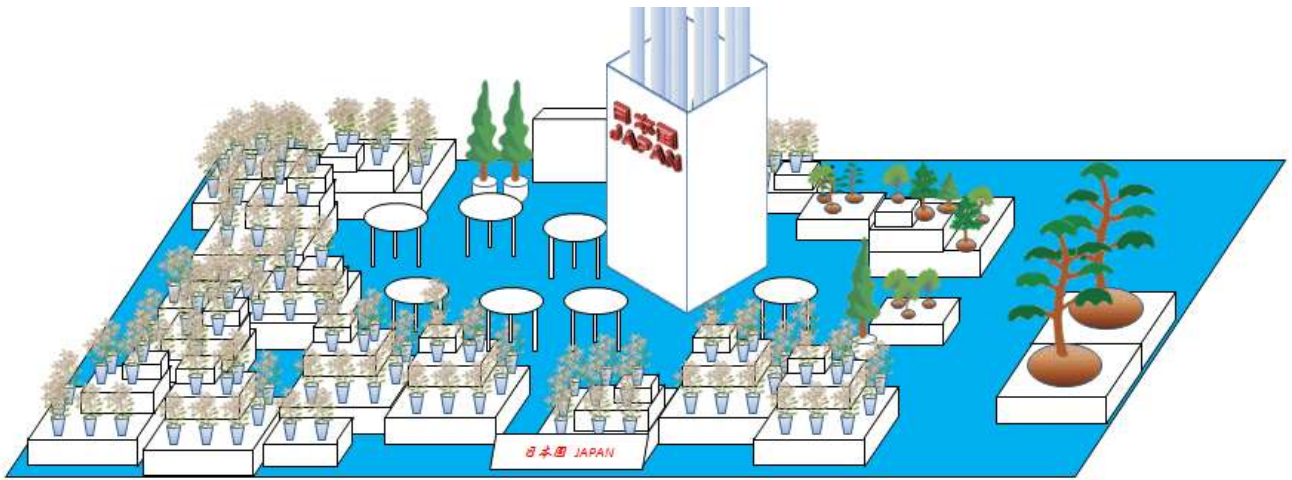
実施報告書

平成22年2月

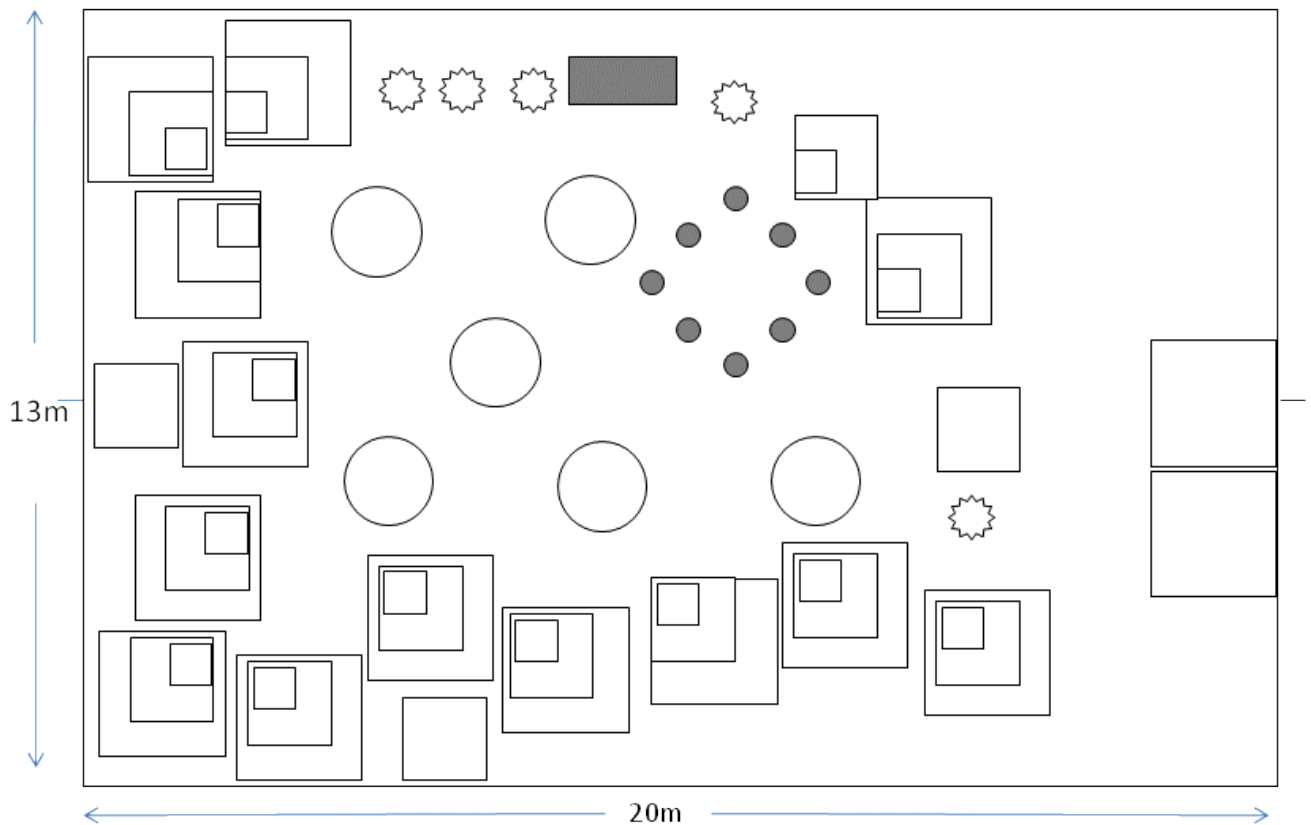
財団法人日本花普及センター  
(農林水産省輸出促進事業)



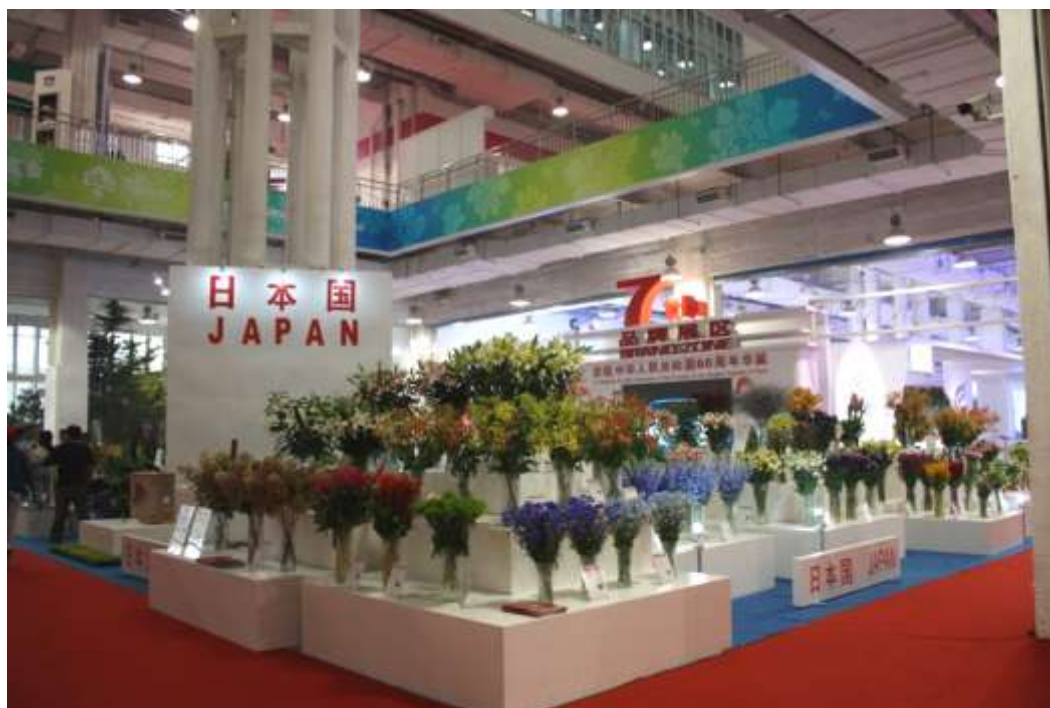
【日本パビリオン イメージ図】



【日本パビリオン 平面図】



出展者：花き輸出振興協議会（事務局：㈱オークネット）及び22生産者  
全日本生花輸出振興協議会（事務局：㈱阪神トレーディング、㈱なにわ花いちば）及び13生産者  
豊明花き株式会社 及び 豊田洋らん研究会（豊田洋らん研究会は、豊明花き㈱へ委託出展）  
アグリマツモト有限会社  
株式会社姫路生花卸売市場  
匝瑳市植木輸出協議会（コンサルタント：NRTガーデンプロダクツ）  
有山緑化繁殖株式会社  
（出展者及び出展物の詳細はP4～5を参照）





第7回中国花き博覧会 日本パビリオン出展者及び出展物等 詳細

出展社及び構成員等	所在地	品目等	形態
<b>花き輸出振興協議会 (事務局:株式会社オークネット)</b>	東京都千代田区	以下の産地の取りまとめ	
高知新三里園芸組合	高知県高知市	グロリオサ	切花
JAふかや	埼玉県深谷市	ユリ	切花
加藤洋らん苑	愛知県豊田市	シンビジウム	鉢物
丸栄花材	福島県須賀川市	洞山ツツジ	切花
		ユキヤナギ	切花
		シンテッポウユリ	切花
五蘭塾	熊本県宇城市	オンシジューム	鉢物
		デンファレ	鉢物
JA庄内みどり	山形県酒田市	ハイブリットスターチス	切花
		ケイトウ	切花
		トルコキキョウ	切花
JA愛知みなみ	愛知県田原市	グロリオサ	切花
JA安代	岩手県安代市	リンドウ	切花
JA信州うえだ	長野県上田市	フウセントウワタ	切花
小野里 博	群馬県前橋市	ユキヤナギ	切花
花豊	埼玉県川口市	ウメモドキ	切花
JA三石町	北海道日高郡	デルフィニウム	切花
JA土佐あき芸西	高知県安芸郡	オキシペタラム	切花
寺尾フラワーガーデン	長野県雲仙市	スカビオサ	切花
JA南さつま	鹿児島県南九州市	クルクマ	切花
JA道北なよろ	北海道名寄市	サンダーソニア	切花
JA君津市(小櫃)ブルームネット	千葉県君津市	カラー	切花
乃口バラ園	熊本県玉名郡	バラ	切花
JA北越後	新潟県新発田市	セロシヤ	切花
藤岡市洋欄組合	群馬県藤岡市	シンビジウム	鉢物
小川花園	愛知県田原市	スイートピー	切花
JA周桑	愛媛県西条市	デルフィニウム ジャイアント	切花
<b>全日本生花輸出振興協議会 (事務局:株式会社阪神トレーディング)</b>	兵庫県西宮市	協力会社:株式会社なにわ花いちばと共に 以下の産地の取りまとめ	
JA信州うえだ花き部会	長野県上田市	グラジオラス	切花
片品村農協 尾瀬アジサイ生産部会	群馬県利根郡	ハイドランジア	切花
JA兵庫六甲 淡河ユリ部会	兵庫県神戸市	テッポウユリ	切花
JAみついし 花き振興会	北海道日高郡	デルフィニウム	切花
		テマリソウ	切花
雪美人	新潟県中魚沼郡	オリエンタルユリ	切花
JA高知市三里園芸部	高知県高知市	グロリオサ	切花
シーサイド渥美農業振興協同組合 石井光春	愛知県田原市	アルストロメリア	切花
シーサイド渥美農業振興協同組合 石井義明	愛知県田原市	アルストロメリア	切花
シーサイド渥美農業振興協同組合 片山知生	愛知県田原市	ケイトウ	切花
シーサイド渥美農業振興協同組合 石井芳雄	愛知県田原市	アルストロメリア	切花
JAにいがた岩船切花部会 荒川支部	新潟県村上市	オリエンタルユリ	切花
JAみなみ信州 花き第1選花場	長野県下伊那郡	オキシペタラム	切花
株式会社高橋園芸	山形県飽海郡	オリエンタルユリ	切花

出展社及び構成員等	所在地	品目等	形態
豊明花き株式会社	愛知県豊明市	以下の産地等の取りまとめ	
豊明花き株式会社	愛知県豊明市	アッサムニオイザクラ	鉢物
		カリッサマクロカルパ	鉢物
		メラレウカ	鉢物
		クリスマスローズ	鉢物
		オンジジューム	鉢物
		ドラセナコンシンネ	鉢物
		ステレオスペルマムライム	鉢物
		グラマトフィラム	鉢物
		クマザサ	鉢物
		斑入りカリヤス	鉢物
		ヤブコウジ	鉢物
		アジサイ	鉢物
豊田洋らん研究会	愛知県豊田市	シンビジウム	鉢物
アグリマツモト有限公司	千葉県山武市	サンダーソニア	切花
			種子
		君子蘭	球根 株
有山緑地繁殖株式会社	埼玉県さいたま市	カエデ	樹木
匝瑳市植木輸出協議会 (NRT ガーデンプロダクツ)	千葉県匝瑳市	イヌツゲ	樹木
株式会社姫路生花卸売市場	兵庫県姫路市	ユーストマ	切花
		バラ	切花
		LA ユリ	切花
		ヒマワリ	切花
		アルストロメリア	切花
		洋ラン・フロリバンダ	切花
		ガーベラ、キク	切花
		シクラメン	鉢物
		胡蝶蘭	鉢物
		デンファレ(ワインシリーズ)	鉢物
オンジジューム	鉢物		

### 3. 出展活動について

#### (1) 出展勧奨の実施について

本博覧会の出展に関する周知及び勧奨を円滑に行うため、専用のホームページを開設するとともに、関係者等へ資料を送付し、広く出展を呼びかけた。

(出展募集に関する概要)

募集スペース	20者程度(60~70品種程度)
募集期間	平成21年7月2日~7月31日必着
対象出品物	日本で生産された花きで、中国において輸入・販売できるものに限る。
出品資格	上記対象物の生産者、出荷団体、農協、経済連等、もしくはそれを取りまとめる卸・仲卸等
出展料	無料

ホームページの開設：平成21年7月2日(木)より開設

ホームページのURL：<http://www.jf-selections.net/china/>

出展募集に関する資料の送付日：平成21年7月3日(金)

出展募集に関する資料の送付先：農政局、都道府県花き担当者、全国花き輸出拡大協議会会員等



## (2) 事前調査の実施について

出展の準備に当たっては以下の日程で事前調査を実施した。

### 第1回事前調査

調査日程：平成21年8月3日～6日

主な内容：出展施工に関する打ち合わせ

植物検疫及び輸送に関する打ち合わせ等



### 第2回事前調査

調査日程：平成21年8月19日～22日

主な内容：植物検疫及び輸送に関する最終確認

有力バイヤーの日本パビリオン誘致の事前説明 等



### (3) 説明会の開催について

出展申し込みの後、農林水産省の定める基準に基づいて審査を行い、出展者を決定した。決定した出展者に対しては以下のとおり説明会を実施した。

■日時：平成21年8月26日（水） 14：00～16：00

■場所：東京都中央区東日本橋3-6-20

東織厚生年金会館 3階 会議室

### (4) 共通パンフレットの制作について

効果的な商談活動に資するため、日本パビリオンのパンフレットとして共通パンフレットを制作した。これには、各社の紹介とともに、出品予定物の画像も掲載した。



### (5) 有力バイヤーへの招待状の送付について

事前に入手した中国花卉協会会員名簿をもとに、日本パビリオンへの来場を促すため、共通パンフレットを添えて招待状を送付した。

送付日：平成21年9月16日

送付数量：150通

### (6) 出展物の輸送について

出展物の輸送に当たっては、中国側の指定通関業者「一龍公司」が指定した日本側の業者である「株式会社日新」を推奨輸送業者として、スムーズな輸送及び通関業務のバックアップを行った。

出展物の輸送スケジュールについては以下のとおり

#### 第1回輸送

集荷日：9月22日 午前中必着で(株)日新が指定する倉庫へ搬入

輸出検疫実施日9月22日 午後

輸送日：9月23日（成田発：JL781）

会場搬入日：9月24日 20時

#### 第2回輸送：

集荷日：9月28日 午前中必着 (株)日新が指定する倉庫へ搬入

輸出検疫実施日9月28日 午後

輸送日：9月28日（成田発：CA168、関空発CA928）

会場搬入日：9月29日 午後6時

(7) 設営・展示について

日本パビリオンの造作物や花台については、9月23日までにほぼ完成し、24日には生花等の出品物の展示及び設置が行われた。

生花等の出展物は、輸送会社によりパビリオンまで輸送され、現物確認をした後、出展者により開封及び水揚げ作業を行った。切り花については、事務局が用意するガラスの花瓶に活け、品種ごとの展示を行った。

第1回水揚げ及び展示作業：平成21年9月24日 20:00～深夜1:00

第2回水揚げ及び展示作業：平成21年9月29日 18:30～20:30



(8) フラワー・デモンストレーションの開催について

① 日本パビリオン内での実演

ワールドカップチャンピオンである、村松文彦氏により、来場するバイヤー等を対象にしたフラワー・デモンストレーションを実施した。



(展示作品の例)



## ② 別会場での実演

世界各国からフラワーデザイナーが、それぞれの技術を披露する「第七届中国花卉博览会（北京展区）国际插花花艺表演」が、9月26日～27日に開催され、日本パビリオンの更なるPR効果等を図るため、ここでも実演を行った。なお、参加国は日本、ドイツ、台湾、オランダ、マカオ、韓国の計6カ国であった。



(9) 日中花き産業交流フォーラムの開催について

今後の輸出促進を円滑に行うため、日中間の花き産業の交流のためのフォーラムを開催した。



(日中花卉産業交流フォーラムの概要)

開催日時：平成21年9月27日

開催場所：北京金宝花园国际酒店（北京市順義区）

主催：中国花卉报社、北京花卉協会、日本花普及センター

事務局：北京国际鲜花港管理委员会

テーマ：流通、マーケティング、産業発展

出席者：中国花卉協会代表

北京市园林绿化局代表

北京市花卉協会代表

中国花卉报社代表

七博会筹备办代表

日本花普及センター 副会長 畑中孝晴

日本パビリオン出展者

中国花卉企業代表

新聞媒体

(合計 50 人前後)

講演者：(日本側) フラワーオークションジャパン 取締役 長岡 求

株式会社オークネット 花き流通事業部長 尾崎 進

(中国側) 中国农大経済管理学院 卢凤君 博士

中商研究所 主任 王建华

中国土畜産進出口貿易協会 花卉分会 秘書長 蔡军

(10) 商談活動の実施について

日本パビリオンでは、展示場所と商談場所を分け、各出展者による商談活動が行われた。





(1 1) 来場者に対する花きの趣向調査の実施について

来場者を対象に、花きに対する趣向調査を実施し、結果を取りまとめるとともに、出展者へフィードバックした。(結果については別添1を参照)

(1 2) 撤去及び廃棄処分について

閉幕後、全ての展示物を廃棄処分とした。切り花及び鉢物については、権利保護の観点から、全て切り刻んで廃棄とした。なお、廃棄物は中国植物検疫官により持ち帰り、適切に処分された。



(1 3) 出展者に対するアンケートの実施について

帰国後、各出展者に対してアンケート調査を実施した。  
(結果については別添2を参照)

4. 展示会の成果等について

- ① 100品種以上の高品質な日本産花きを北京で現物展示を行うことは、これまでで事例はなく、同博覧会においても、最も注目を集めるパビリオンとして、開催期間中は連日多くの来場客を集め、日本産花卉の優位性を幅広く訴えることができた。また、出展者にとっても、北京での日本産花卉に対する趣向の観察ができた。





- ② 展示会の本来は一般向けのパブリックショーであったため、来場者のほとんどは一般であったため、効果的に有力バイヤーと面談を行うため、別に「日中花卉産業交流フォーラム」（9月27日・午前中）を開催した。これには、中国側からはメディア関係者、有力バイヤー等も参加し（約50名程度）、交流を図った。また、同日夜には、同参加者による、ビュッフェ形式の夕食会が開催され、出展者と中国バイヤー等との交流の場を設けた。



(写真上：日中花卉産業フォーラムの様子)



(写真上：夕食会での商談の様子)

また、更に効果を高めるため、次の日（9月28日）には、中国側の花卉産業の有力者を招き、交流会を開催し、出展者との交流を行った。これには、中国側から北京市園林緑化局 王振江局長を始め、実績のある中国側バイヤーが参加した。

(写真右：27日の交流会の様子)



- ③ 来場者に対して、趣向のアンケート調査を行い、集計結果を取りまとめて、出展者にフィードバックした。(別添2参照)
- ④ これまでの対中輸出は上海、香港等の南周りルートでは行われてきたが、北周りの北京ルートは未開であったため、日中双方が相互理解もまだ十分でなかった。しかし今回、展示会内外にて中国側の有力バイヤー等との交流を図る機会を設けたことにより、今後は、今回の出展で得た情報等をもとに、各社の取り組みに期待がかかることである。
- ⑤ 今後の課題のひとつとして、今回の商談活動では、切り花、鉢物等の製品よりも、種子、球根、種苗といった、生産素材の引き合いが多かった。更に同カテゴリーの需要は莫大なものと推測されるため、今後は、育成者保護の問題を整理するとともに、種苗の輸出についての具体的な手法や戦略について検討が求められる。

(別添 1)

## 中国・北京における花きの趣向調査

財団法人日本花普及センター

平成21年10月22日

### 1. 調査概要

#### (1) 調査方法

第7回中国花き博覧会における日本ブースへの来場客に対して、画像入りのアンケート用紙にて、気に入った花にチェックを入れる。なお、出展者ごとに品種毎に項目を立てた。また複数回答は可能とした。

(調査対象品目及び品種数)

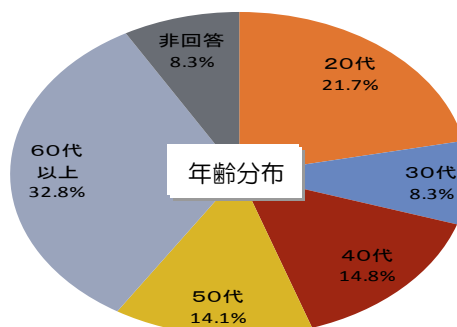
品目名	品種数	品目名	品種数	品目名	品種数
アルストロメリア	9	シクラメン	1	ヒマワリ	5
ウメモドキ	1	シンビジウム	8	フウセントウワタ	1
オキシペタラム	4	スイートピー	6	ユキヤナギ	1
オンシジューム	4	スカビオサ	1	ユリ(オリエンタル)	10
ガーベラ	5	セロシヤ	5	ユリ(LA)	6
カラー	1	テマリソウ	1	ユリ(テッポウユリ)	2
キク	3	デルフィニウム	10	ユリ(シンテッポウユリ)	1
グラジオラス	4	デンファレ	2	リンドウ	3
クルクマ	2	トルコキキョウ	10	リョーブ	1
グロリオサ	7	ハイドランジア	3	胡蝶蘭	2
ケイトウ	4	ハイブリットスターチス	1	洞山ツツジ	1
サンダーソニア	2	バラ	6	バンダ	4

#### (2) 収集結果概要

① アンケート収集数：290人／投票数：2550票 (複数回答)

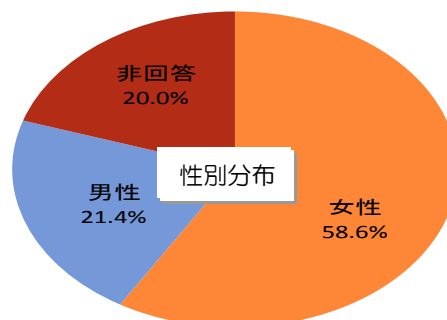
② 年齢分布：

年代	人数	割合
20代	63人	21.7%
30代	24人	8.3%
40代	43人	14.8%
50代	41人	14.1%
60代以上	95人	32.8%
非回答	24人	8.3%
合計	290人	100.0%



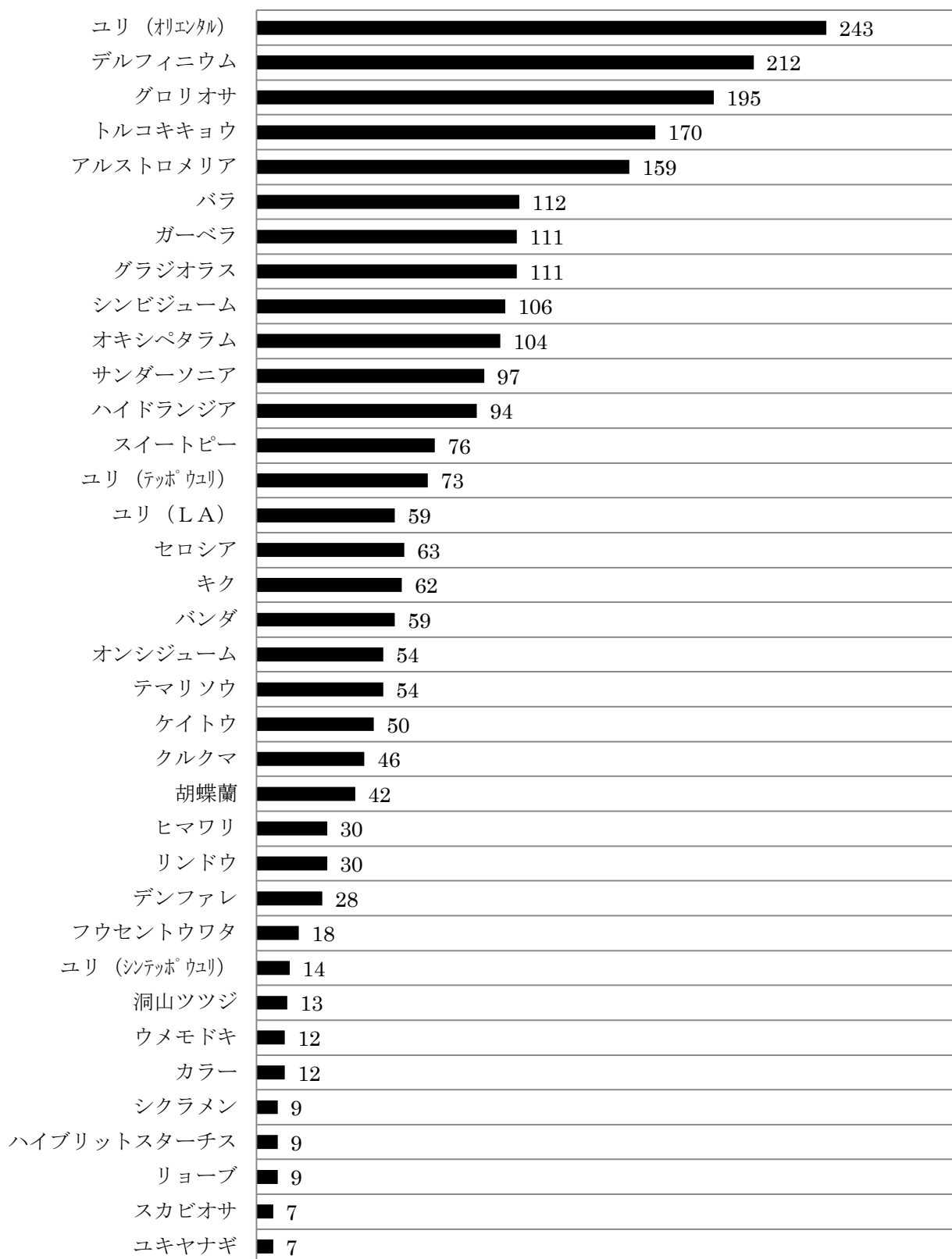
③ 性別分布：

性別	人数	割合
女性	170人	58.6%
男性	62人	21.4%
非回答	58人	20.0%



### 2. 調査結果詳細

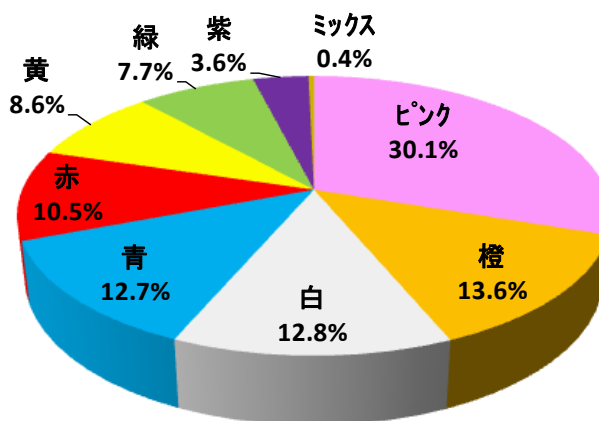
(1) 品目別得票数



(総投票数：2550票)

(2) 花色別投票数割合

花色	投票数
ピンク	757
橙	341
白	322
青	320
赤	263
黄	217
緑	194
紫	91
ミックス	9



(注:リョーブ、洞山ツツジは含まず)

(3) 品種別得票数及び順位

順位	品目名	品種名	花色	投票数
1	サンダーソニア	—	橙	97
2	ユリ(オリエンタル)	マレロ	ピンク	75
3	ユリ(オリエンタル)	ソルボンヌ	ピンク	61
3	オキシペタラム	ブルースター	青	61
5	デルフィニウム	オーロラブルーインプ	青	59
6	テマリソウ	テマリソウ	緑	54
7	ハイドランジア	秋色ミナヅキ	ピンク	52
8	グロリオサ	サザンウィンド	赤	50
9	オキシペタラム	ピンク	ピンク	45
10	ユリ(テッポウユリ)	オリジナルオーゴ	白	43
11	グロリオサ	ルテア	黄	42
12	クルクマ	シャローム	ピンク	40
13	デルフィニウム	トリトンライトブルー	青	39
13	グロリオサ	ミサトレッド	赤	39
15	ユリ(オリエンタル)	カサブランカ	白	35
15	ユリ(オリエンタル)	シベリア	白	35
15	アルストロメリア	レベッカ	ピンク	35
15	グラジオラス	熟柿	橙	35
19	バラ	ピンクブーケ	ピンク	32
19	アルストロメリア	マニラ	赤	32
21	ガーベラ	ウララ	ピンク	31
22	ユリ(テッポウユリ)	プリンセスオーゴ	白	30
23	オンシジューム	トウインクル	橙	29

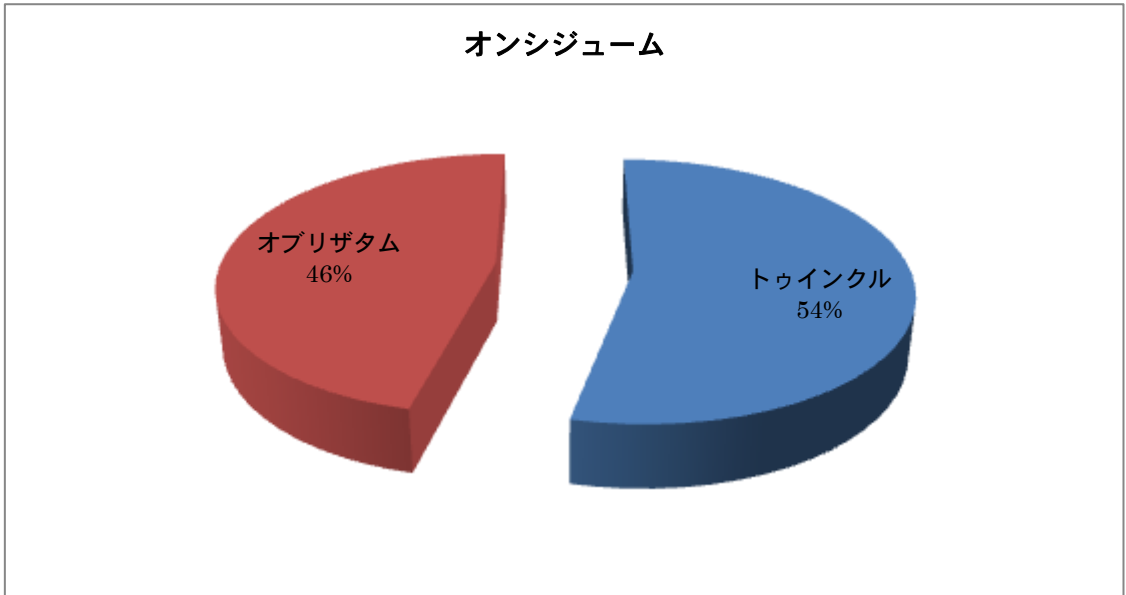
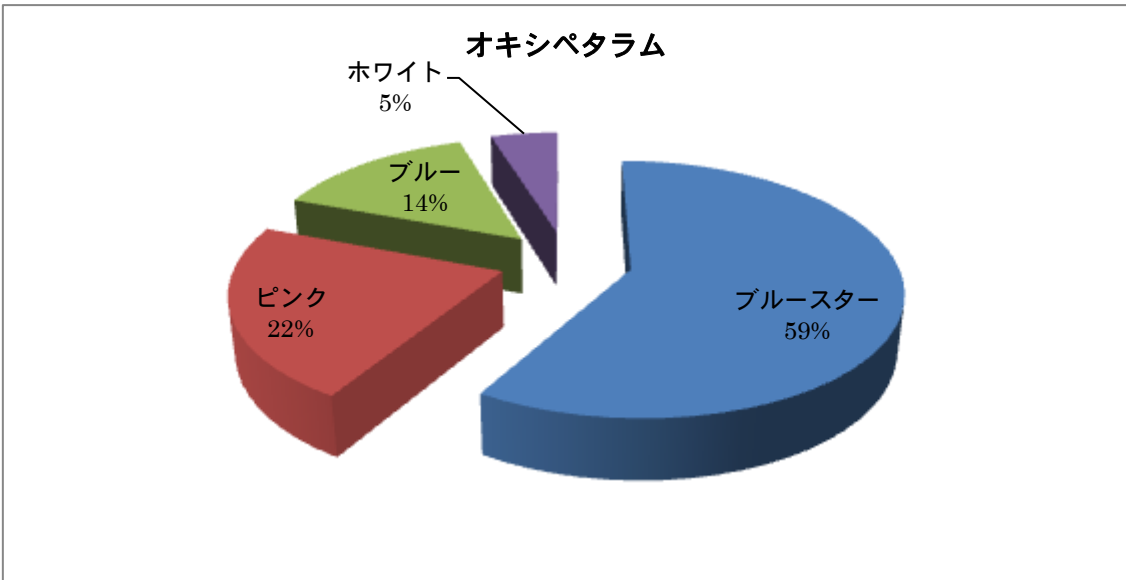
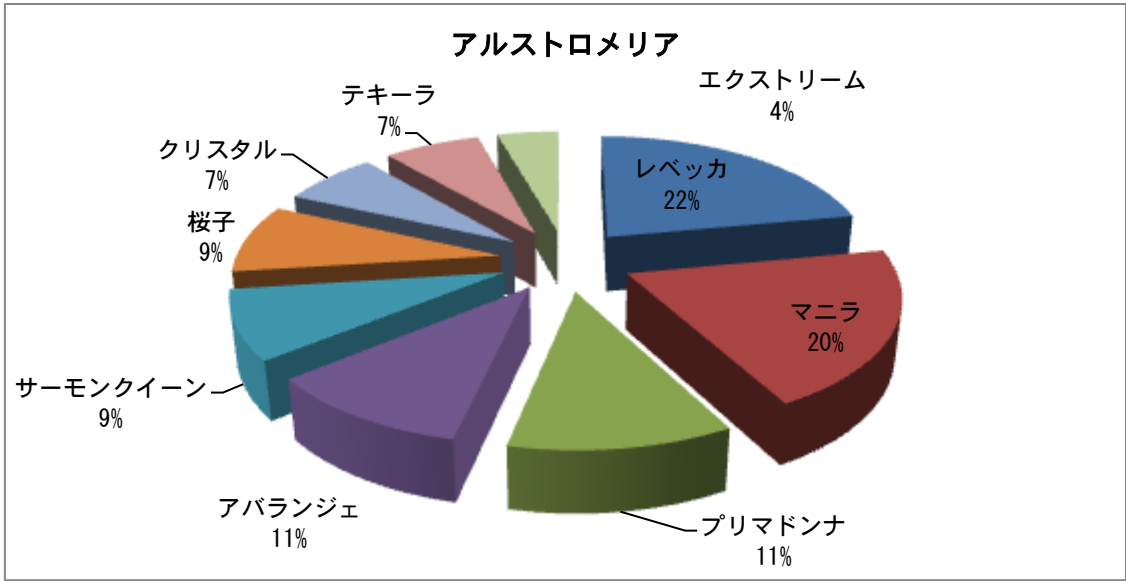
順位	品 目 名	品 種 名	花色	投票数
24	トルコキキョウ	セレブダブルブルー	紫	28
24	グラジオラス	ニューウェーブ	白	28
24	胡蝶蘭	レディマドンナ	ピンク	28
27	ガーベラ	グッドタイミング	橙	27
28	キク	アナスタシアグリーン	緑	26
28	トルコキキョウ	ロジーナブルー	紫	26
28	グラジオラス	桃山	ピンク	26
31	オンシジューム	オブリザタム	黄	25
31	グロリオサ	オレンジ	橙	25
33	デルフィニウム	スーパーグランブルースプレー	青	24
34	スイートピー	シェリー	ピンク	23
34	デルフィニウム	ジャイアント ブルーマジック	青	23
34	セロシヤ	ピア	赤	23
34	グロリオサ	ロイヤル	赤	23
34	ハイドランジア	秋色ユニーク	ピンク	23
39	ケイトウ	センチュリーファイヤー	橙	22
39	洋ラン・フロリバンダ	ノーラピンク	ピンク	22
39	グラジオラス	夕映	橙	22
42	トルコキキョウ	セレブダブルピンク	ピンク	21
42	ガーベラ	フリーダムリネ	白	21
44	バラ	カルピデューム	橙	20
44	セロシヤ	ドリアンレッド	赤	20
44	スイートピー	ロイヤルレッド	ピンク	20
47	ハイドランジア	グリーンアナベル	緑	19
47	トルコキキョウ	コサーージュマンゴー	ピンク	19
49	バラ	キララ	赤	18
49	キク	デリウインドイエロー	黄	18
49	キク	デリウインドホワイト	白	18
49	洋ラン・フロリバンダ	ノーラブルー	紫	18
49	フウセントウワタ	—	緑	18
49	アルストロメリア	プリマドンナ	ピンク	18
55	アルストロメリア	アバランジェ	白	17
55	デンファレ	さくら姫	ピンク	17
55	ケイトウ	センチュリーイエロー	緑	17
55	ガーベラ	ティム	橙	17
55	バラ	リメンバランス	ピンク	17
55	リンドウ	安代の秋	青	17

順位	品 目 名	品 種 名	花色	投票数
61	トルコキキョウ	セレモニーライトピンク	ピンク	16
62	ユリ(オリエンタル)	アクティバ	ピンク	15
62	シンビジウム	イエロー	黄	15
62	トルコキキョウ	コサーージュピンク	ピンク	15
62	デルフィニウム	ジャイアント 青	青	15
62	ガーベラ	ソープ	ピンク	15
62	オキシペタラム	ブルー	青	15
62	オキシペタラム	ホワイト	白	15
62	シンビジウム	ミスティーク	赤	15
70	胡蝶蘭	V3	白	14
70	ユリ(LA)	アラジンディール	黄	14
70	アルストロメリア	サーモンクイーン	橙	14
70	デルフィニウム	スーパーシフォンブルースプレー	青	14
70	ユリ(LA)	ロイヤルトリニティ	橙	14
70	アルストロメリア	桜子	ピンク	14
70	ユリ(シンテッポウユリ)	雷山	白	14
77	シンビジウム	グリーン	緑	13
77	トルコキキョウ	コサーージュホワイト	白	13
77	洞山ツツジ	—	—	13
77	グロリオサ	ニューレッド	赤	13
77	バラ	レモンラナンキュラ	黄	13
77	ユリ(LA)	ロイヤルサンセット	橙	13
77	トルコキキョウ	ロジーナイエロー	黄	13
77	ユリ(オリエンタル)	ロンバルディア	ピンク	13
77	シンビジウム	初音	緑	13
86	ウメモドキ	ウメトキ	赤	12
86	デルフィニウム	シネンシス 青	青	12
86	バラ	ジプシーキュリオアサ	橙	12
86	カラー	シロ	白	12
90	アルストロメリア	クリスタル	白	11
90	スイートピー	グレース	紫	11
90	洋ラン・フロリバンダ	サヴィータブルー	ピンク	11
90	デルフィニウム	ジャイアント 水色	青	11
90	デンファレ	シャンデリア	ピンク	11
90	ケイトウ	センチュリーレッド	赤	11
90	アルストロメリア	テキーラ	緑	11
90	トルコキキョウ	パレオピンク	ピンク	11

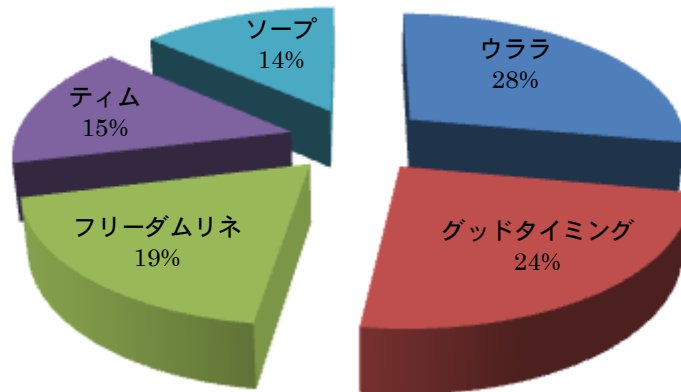
順位	品 目 名	品 種 名	花色	投票数
90	スイートピー	ファーストレディ	ピンク	11
99	ユリ(LA)	グリーンザルム	黄	10
99	ヒマワリ	サンリッチオレンジ	黄	10
99	デルフィニウム	ジャイアント ガンマアミー	青	10
99	シンビジウム	春色	緑	10
103	ユリ(オリエンタル)	イエローウイン	黄	9
103	シクラメン	ガーデンシクラメン武蔵	ミックス	9
103	ハイブリットスターチス	ブルーファンタジア 100	青	9
103	リョーブ	ー	ー	9
107	トルコキキョウ	アクロポロリスホワイト	白	8
107	シンビジウム	おぼろ月	黄	8
107	ユリ(LA)	セベネス	橙	8
107	洋ラン・フロリバンダ	ラチャブリイブルー	紫	8
107	リンドウ	ラブリー安代	ピンク	8
112	アルストロメリア	エクストリーム	ピンク	7
112	セロシヤ	スプリンググリーン	緑	7
112	セロシヤ	ローズペリーパフェ	赤	7
112	スカビオサ	各色	ミックス	7
112	ユキヤナギ	赤染め	赤	7
117	クルクマ	エメラルドパコダ	緑	6
117	ヒマワリ	ゴッホのヒマワリ	黄	6
117	ヒマワリ	サンリッチフレッシュオレンジ	黄	6
117	セロシヤ	ドリアンゴールデン	黄	6
117	スイートピー	美空	青	6
122	リンドウ	オータムスノー	白	5
122	デルフィニウム	シネンシス 水色	青	5
122	スイートピー	ダイアナ	ピンク	5
125	ヒマワリ	サンリッチマンゴー	黄	4
125	ヒマワリ	モネのヒマワリ	黄	4
127	グロリオサ	ピクシー	白	3

(4) 品目ごとの各品種の得票比率

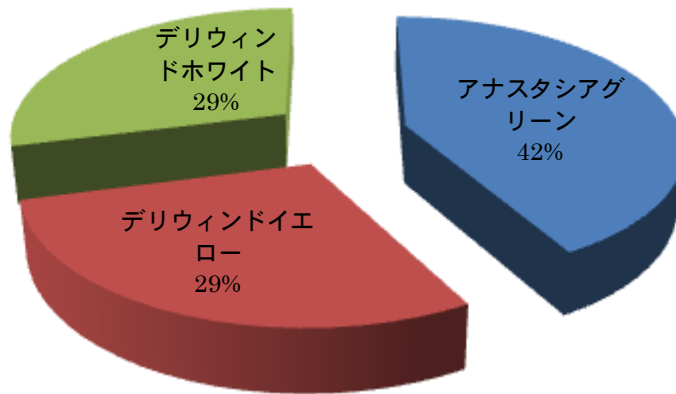
※品目の五十音順に掲載



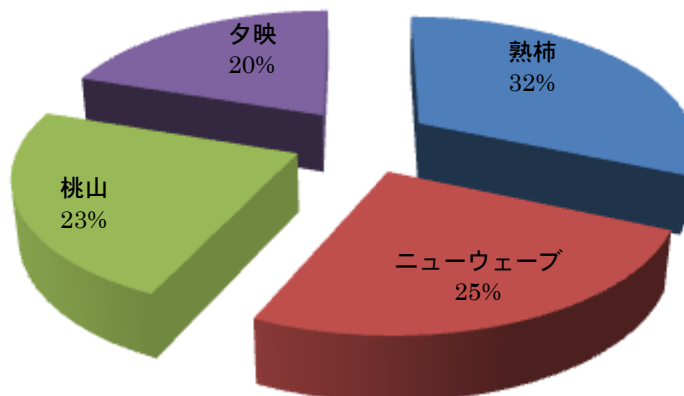
### ガーベラ

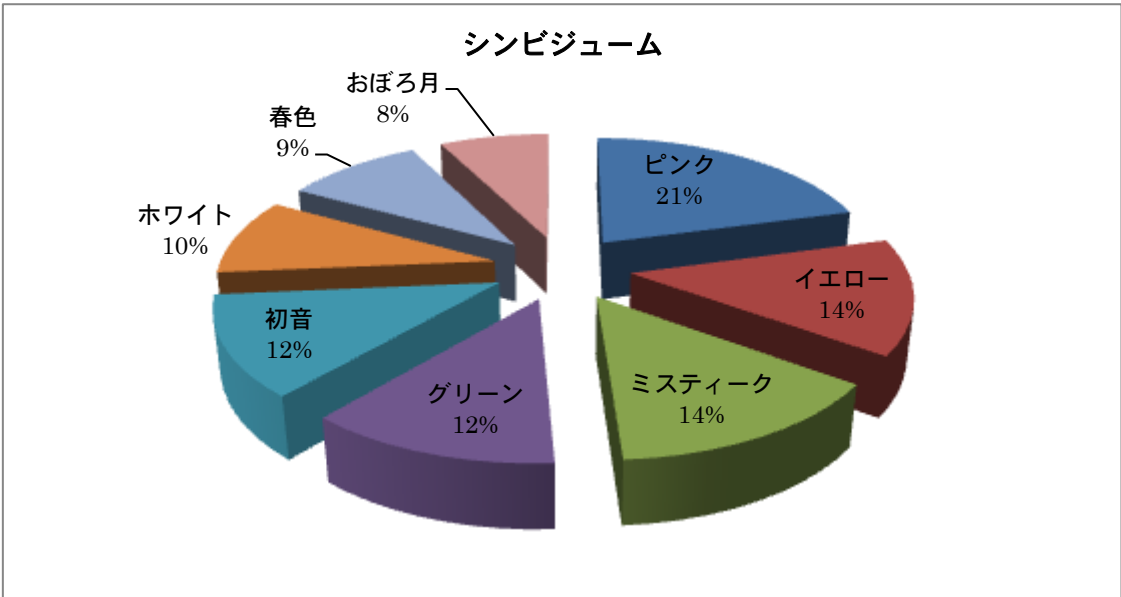
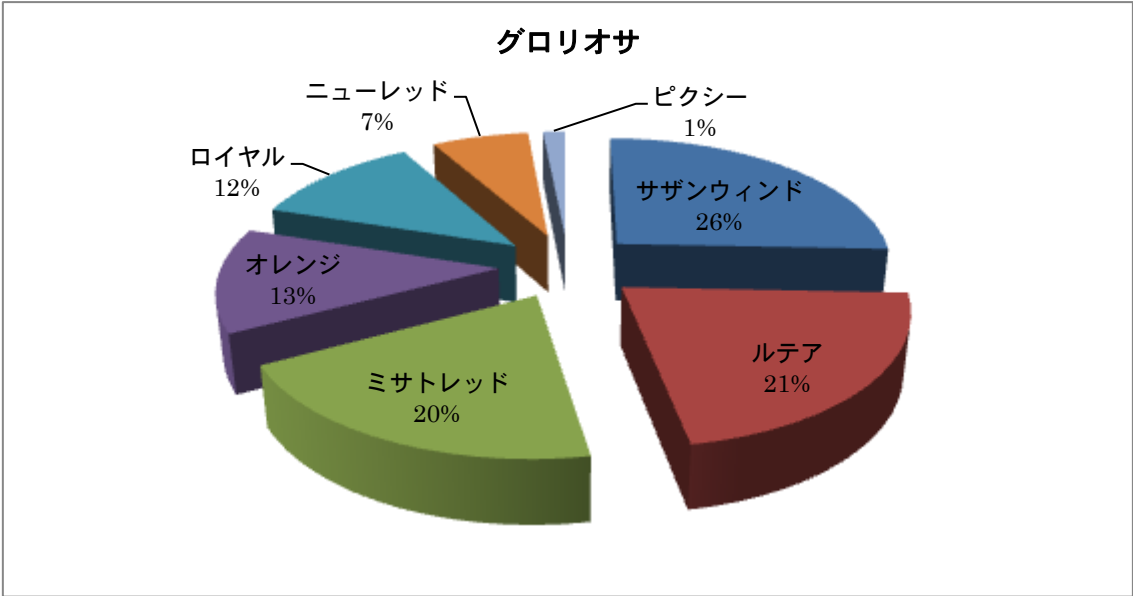
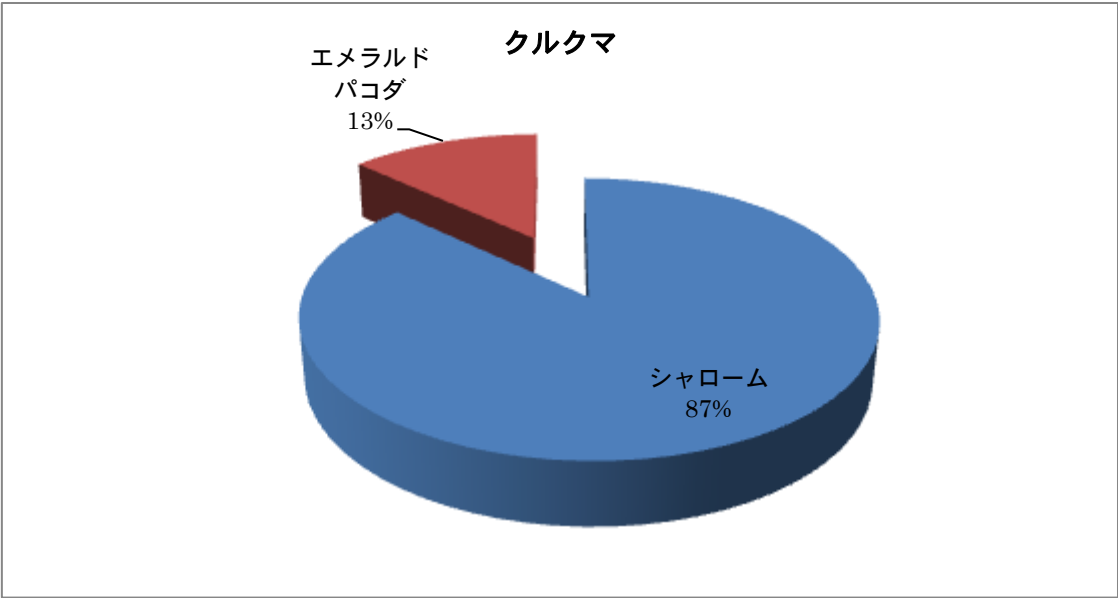


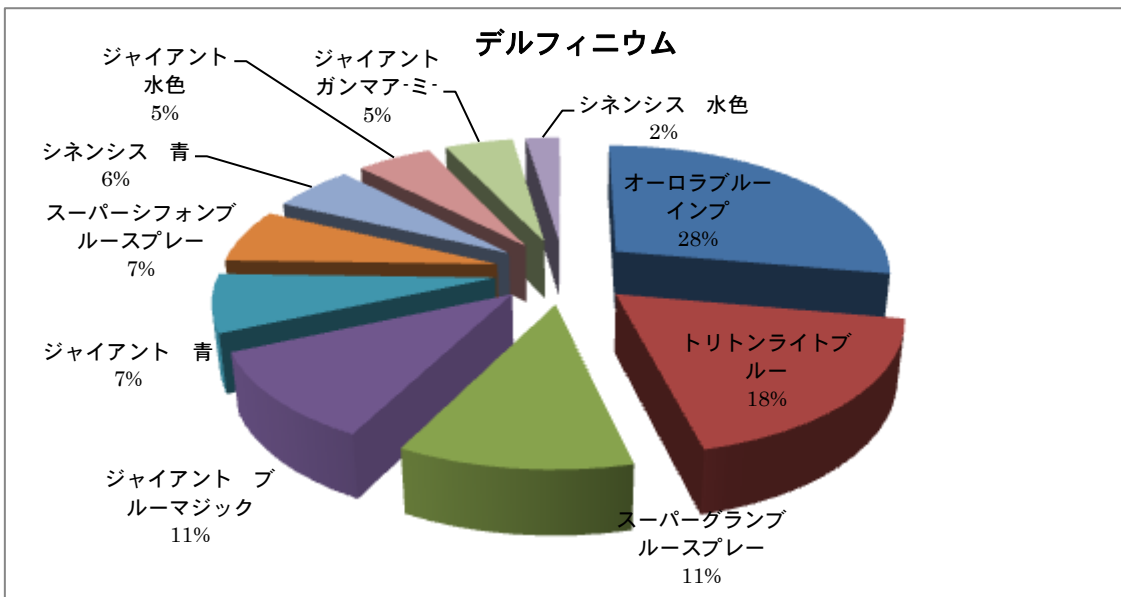
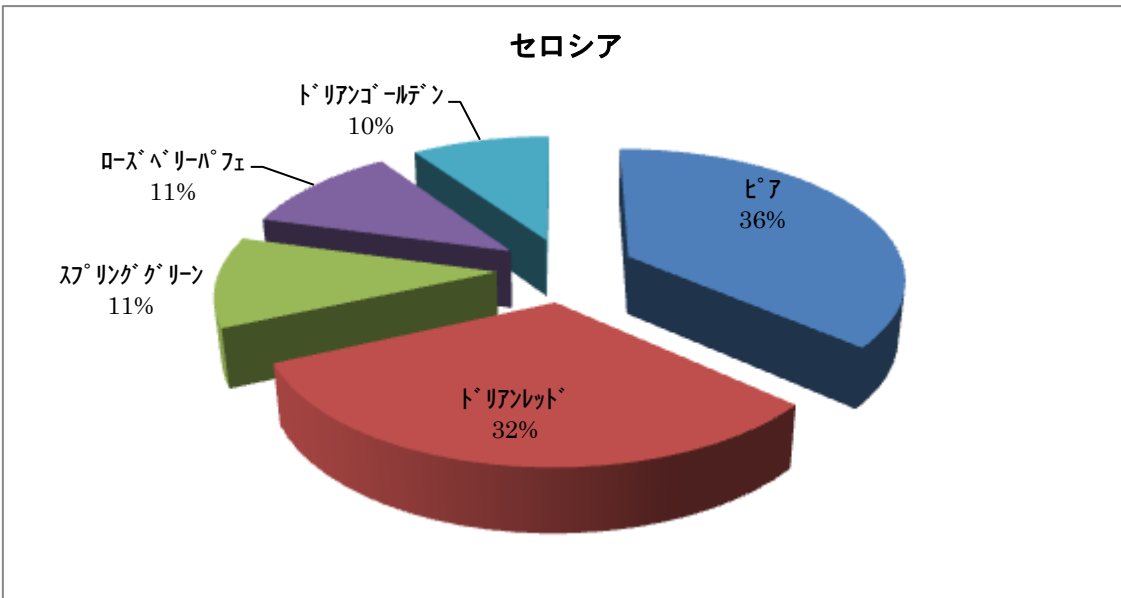
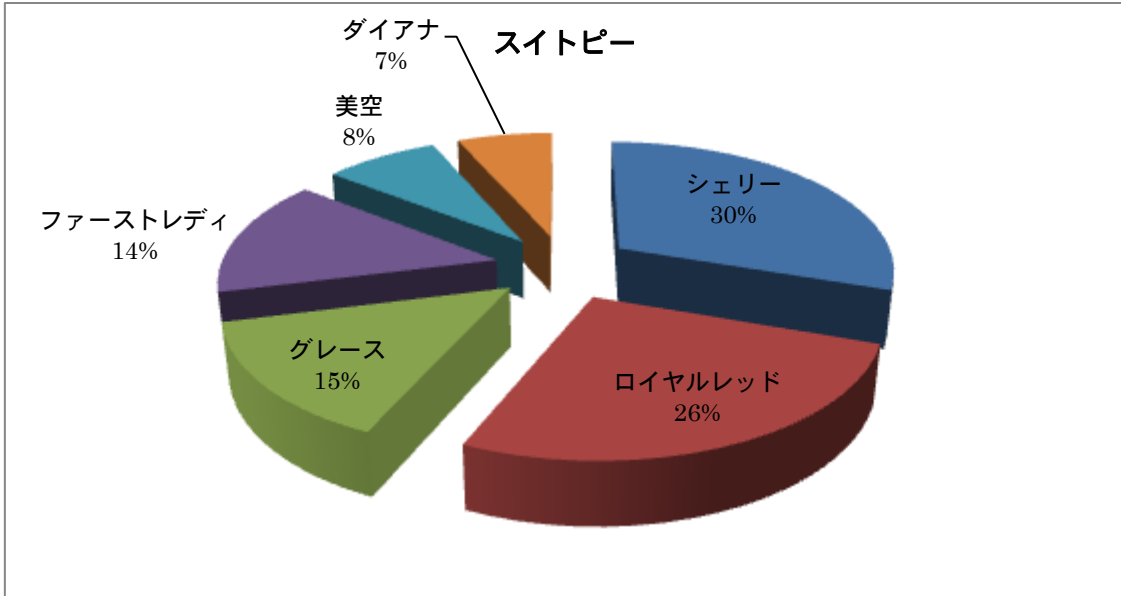
### キク

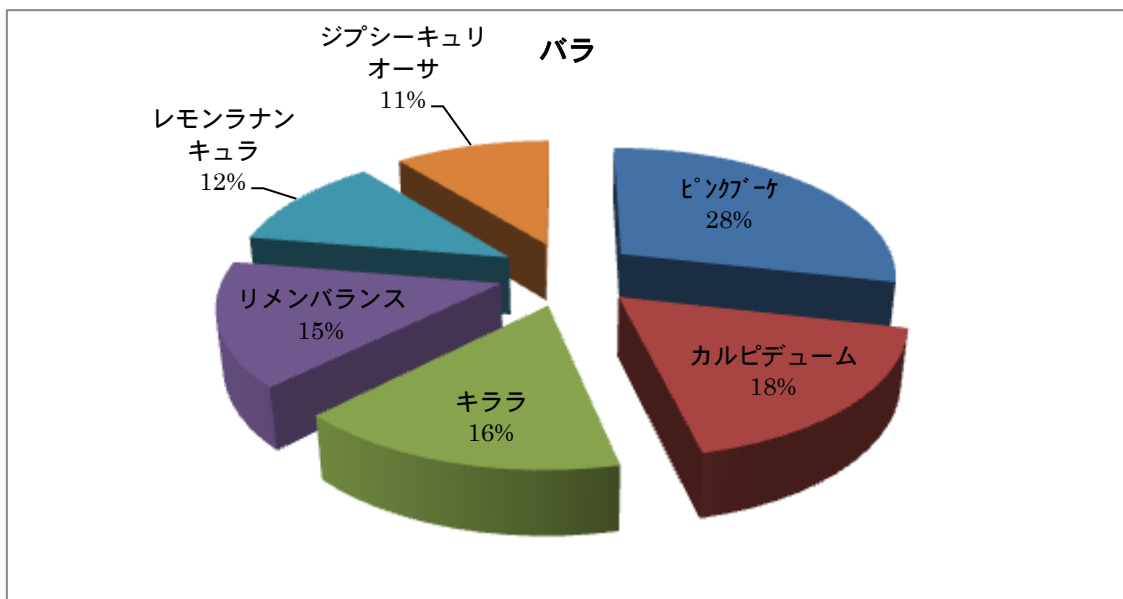
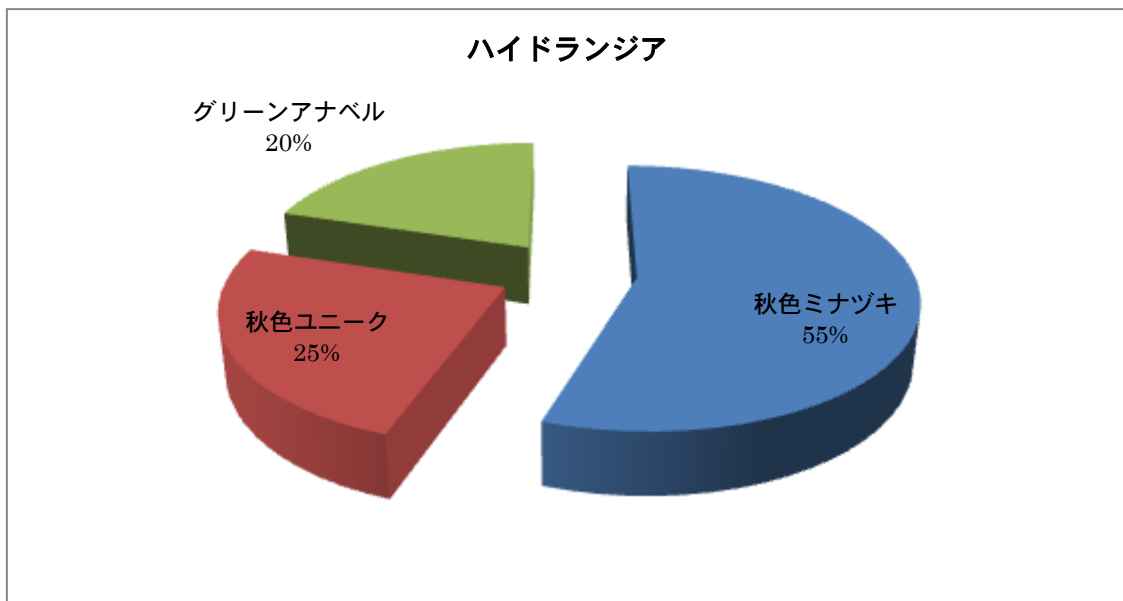
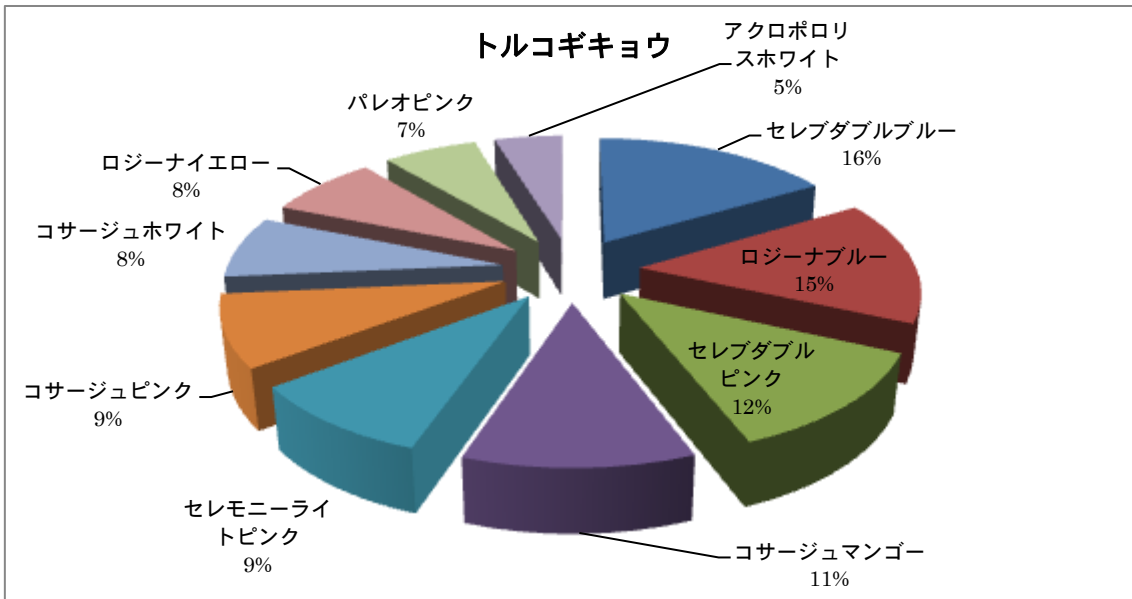


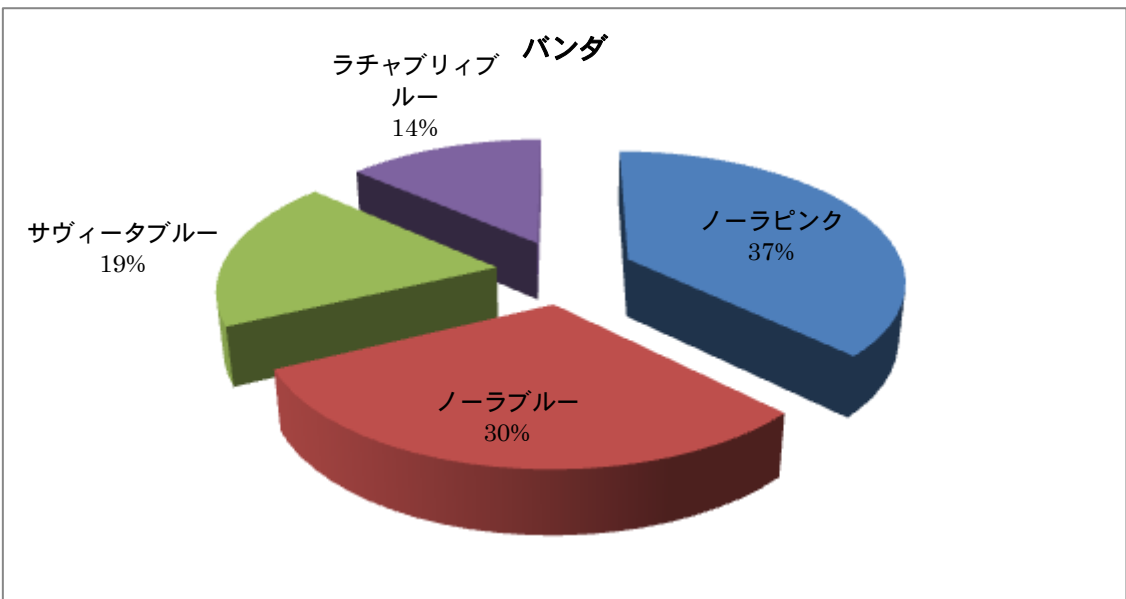
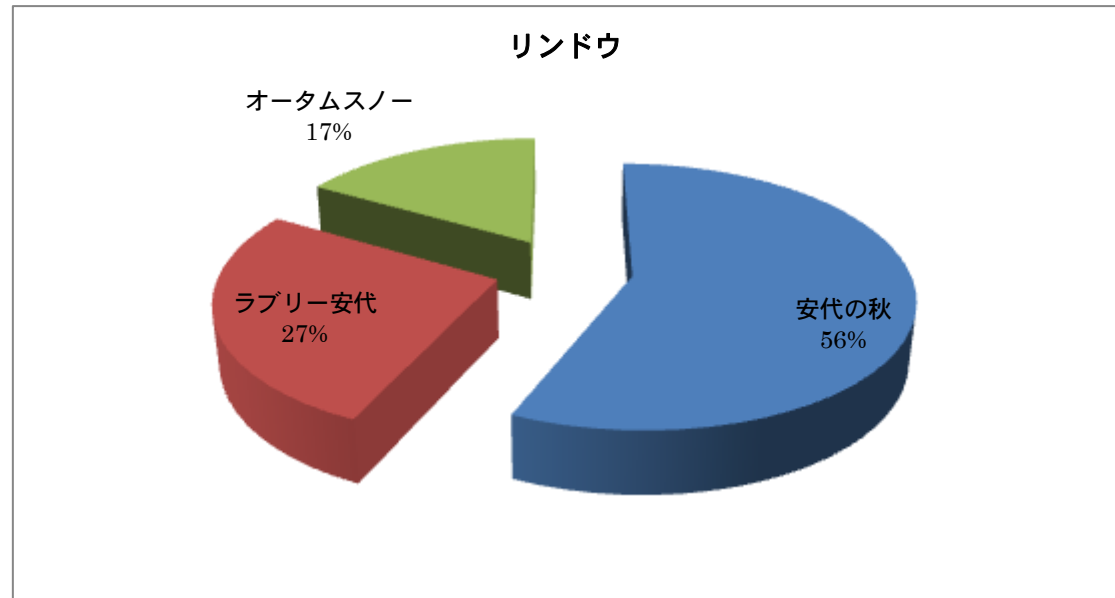
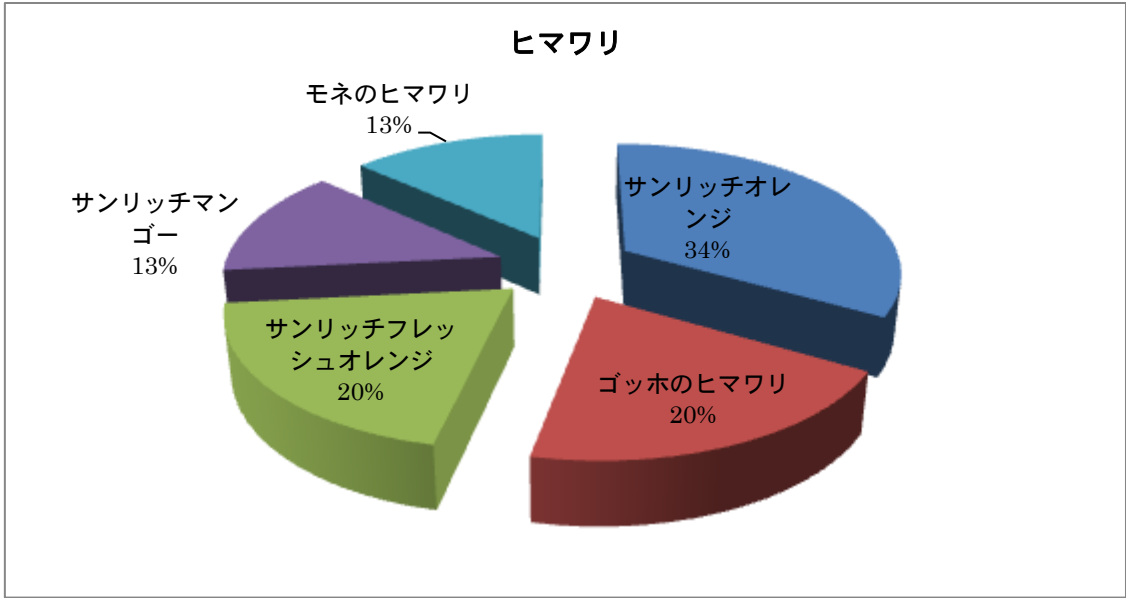
### グラジオラス

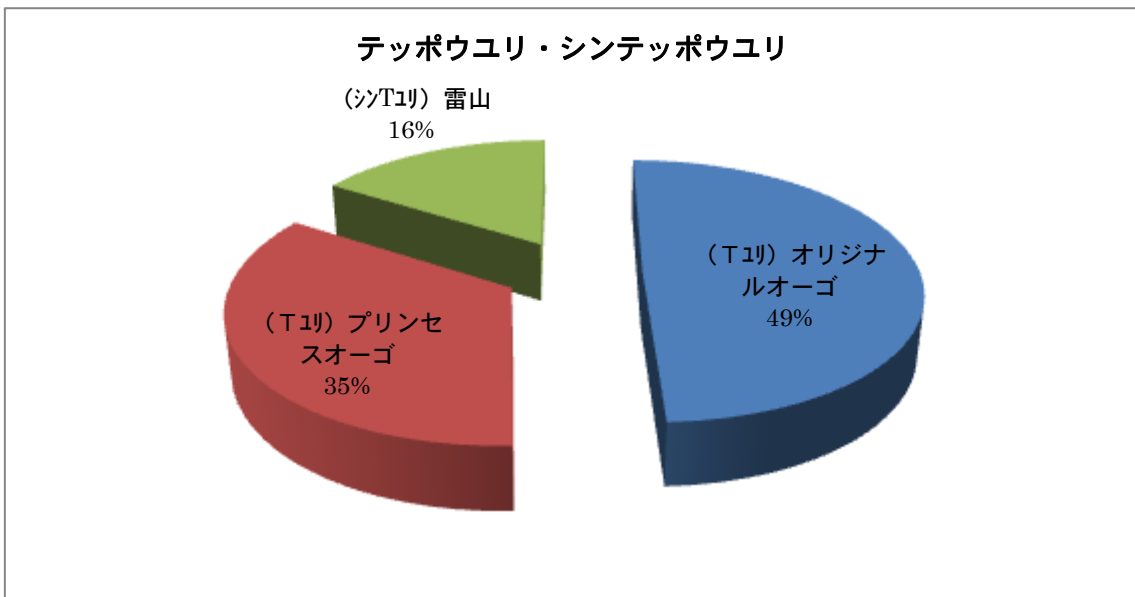
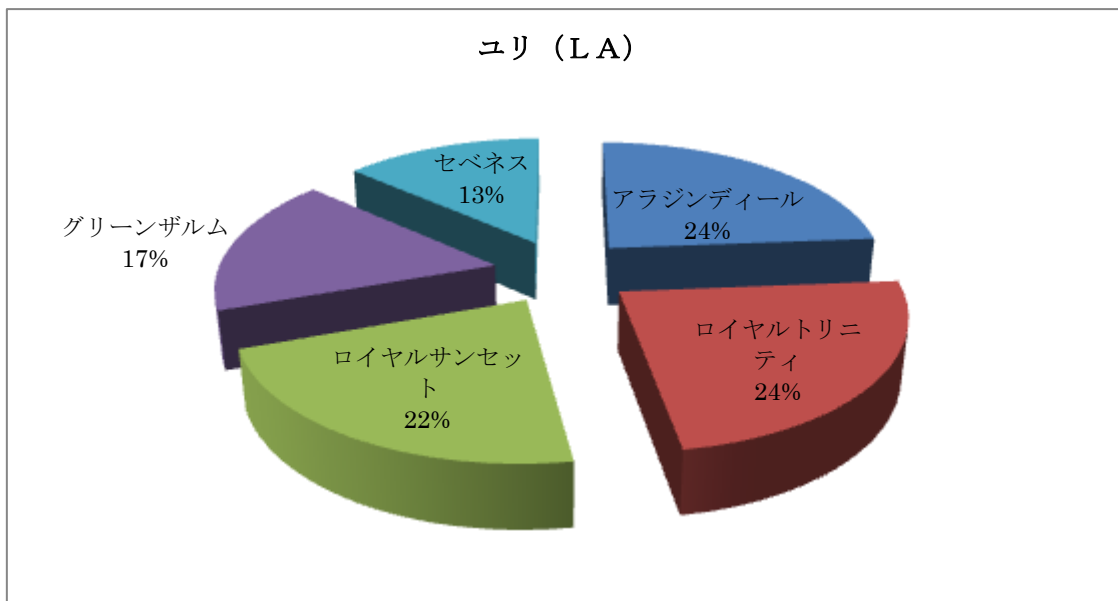
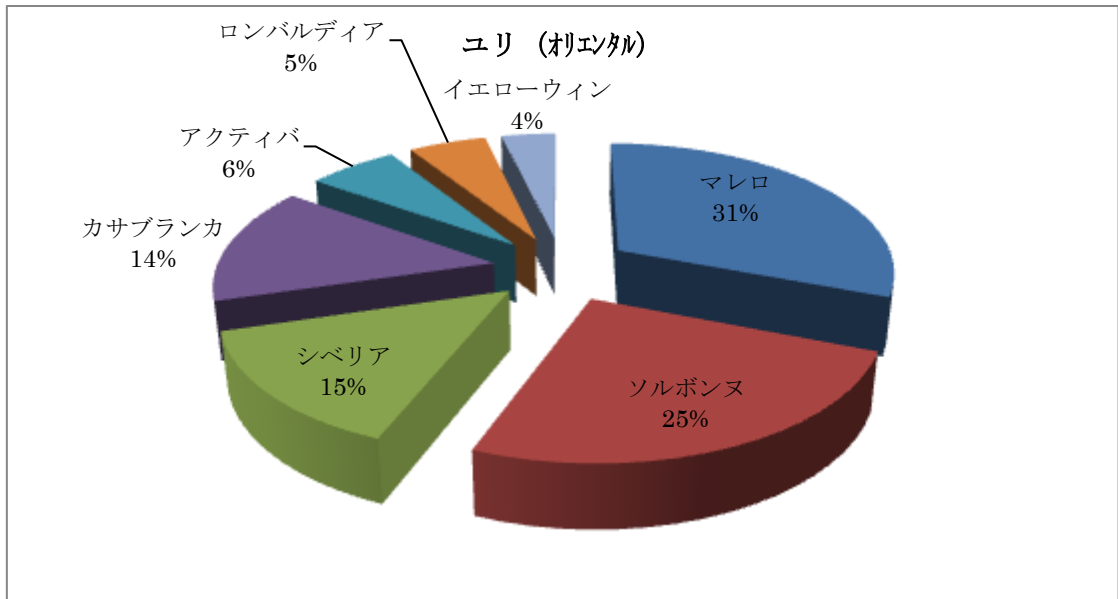












① 出展の目的について

- 対中貿易のきっかけとなるために出展協力
- 日本産花きのPRと対中貿易の可能性の追求
- 中国へのサンダーソニア（切り花、球根）の輸出
- 輸出業務を今後拡大するための中国市場調査
- 展示、北京の植栽の視察
- 中国においての花の消費・形態についてどのような状況なのか将来的に中国又、アジア地域にたいして輸出を考えている。
- 中国で輸出できる業者を探すこと

② 目的の達成度

- まだ早急な結論は出せませんので、このような表現で申し訳ございませんが、バイヤーや花き関連団体との人脈をもてたことは、大変満足しています。
- 高品質な日本の商品を広く多くの人に見てもらうことができたことは、ひとつの成果。ビジネス面では残念ながら成果無し。ビジネスは時間がかかると思われる。
- 来春に取引が始まることもあり、ほぼ満足。
- 自社の宣伝になったと思います。
- 成果は直接ないですが、中国の人々が日本の切り花に対しての興味がかなり深いことが分かりました。
- 日本の花のすばらしさをアピールすることはできたが、商売に結び付けるには時間がかかると感じた。

③ 具体的な商談件数、成果等について

- 約16件と商談。90%は、種苗を輸入することを希望しており、10%が日本産の切り花を輸入したいとのこと。ただ、荷受会社（輸入ライセンス）を持っている会社が1社程度と今後のつながりでは乏しい。
- 具体的な相談は8件、うち3件は脈あり
- 3件の商談。今後の展開につながる商談にはならなかった。但し、出展した商材の人気具合は図れたと思う。
- 来場者が一般消費者が多かったについても10日間で約180万人からの来場者はかなりのものだと思います。逆に中国販路を拡大していくための戦略をご指導をお願いしたい。
- この会期中において商談らしい商談はなかったのが現状。来場者がほとんどが一般消費者ではないでしょうか？
- 具体的なものは5件ほどあった。今後の展開につながるかは不明。

④ 今回の出展を踏まえて今後、中国販路を獲得するための戦略は？

- 北京花卉市場が立ち上がり、その市場との貿易がカギとなると期待。
- 人脈作りが重要だと思われるが、手がかりはない。

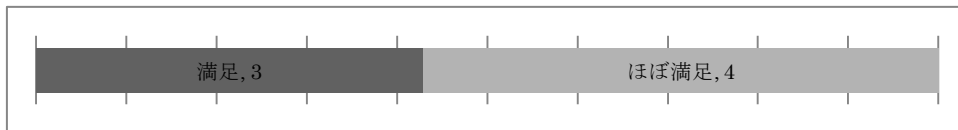
- ジェトロに相談しようかなとも思っています。
  - 輸出コストを考え、ギフト商材に特化。現状で進められている蘭類は継続させ、1月正月に向けた需要を安定させる。新商材の開発も進める。
  - 日本の商材を販売する為の、健全なパートナー開拓が求められる
  - 輸出入サポートの業務だけでなく、細かい対応が行える相手業者が必要。
  - 現地バイヤーとどう組むか？苗木よりも成木のほうに集中する。
  - 代金回収、植物検疫、輸送時間、輸送コスト。特に代金回収が大きな問題だと思います。いろいろな問題がありますが、中国国内生産がスムーズにできればと思う。生産指導がビジネスにつながることができない。
  - 名刺をもらった先にメールで引き続き交渉していく。
- ⑤ 中国でビジネスを展開する上での課題は？
- 1. 値段、2. 輸送&リパック、3. 鮮度
  - 言葉、決済、人脈、現地での物流環境など
  - 代金回収
  - 変化に対応できるパートナー業者と結びつく為の取っ掛かりが課題と思う。
  - 植物検疫に対応するものを栽培しておくこと
  - 売掛金の回収がきちんとできるかが課題。交渉を英語もしくは日本語でできるか、中国語に堪能なスタッフを置くか、言語の問題が大きい。

⑥ 日本パビリオンに関するアンケート

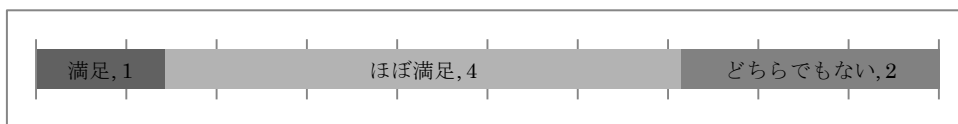
- 日本パビリオンの位置について



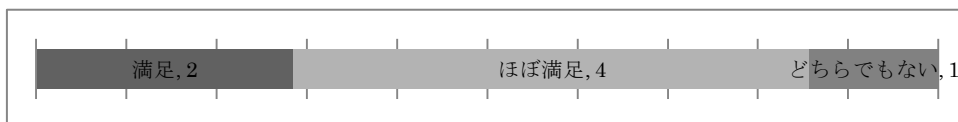
◇ 日本パビリオンの広さについて



◇ 日本パビリオンのレイアウトについて



◇ 日本パビリオンの雰囲気について



⑦ その他

- アンケート集計もして頂き、大変満足しております。日本の花が世界でも先進国である事がよく解りました。
- 10日間の開催は長い。業者（関係者）だけの入場日を作ってください。
- 今回の出展は、主旨として輸出促進につながることを狙って参加致しましたが具体的な商談に発展させるまで至らなかったのは残念ですが、感触を確かめるうえでは一定の評価ができました。会場でもっと専門の業者と話せると良かったと思います。今回は一般の方がほとんどの様子でした。